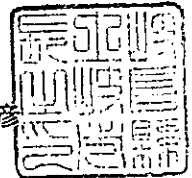


土監第2047号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

土岐市長 大野 信彦



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

秋冷の候、貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、本市の道路行政に対しまして、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして別紙のとおり回答いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

道路財源の確保

地方の道路は、市民の日常生活・活力ある地域づくりや豊かで潤いのある快適な市民生活を実現するための最も根幹的な社会資本であり、その整備には強い期待が寄せられています。

本市においても、中心市街地における街路整備、地域住民の安全・安心な歩道やカーブミラー・ガードレール等設置のほか、市内全域の生活道路整備など、緊急に整備を要する区域・箇所等が数多く残され、整備費用についてはその財源確保に大変苦慮している状況です。

公共交通機関の整った都会の道路事情と、地方における道路の役割は必然的に異なります。道路問題が議論されるとすぐに採算性や費用対効果等が話題となります。しかしながら地方における道路は、水や電気と同じく市民の生活や地域の産業活動を支える社会インフラとなり、災害時における緊急輸送、救急医療などにも必要不可欠となります。

このような市民生活に密着した道路を確保・整備するため、遅れている本市の道路整備を計画的、かつ着実に推進するため地方における道路財源を確保するよう強く要望します。

また、道路整備「中期計画」の策定にあたっては、地方の道路はその全てが生活に地域経済に直結する道路となることから、地域の実情を踏まえた計画とすること。

さらに、地方の自立と活性化に必要な道路、遅れている道路整備を進めるうえでも、道路特定財源の確保と地方への配分割合を大幅に引き上げるよう要望します。

○現状

- ・ 人口は63,110人(H20.8.9 現在)で、岐阜県で10位。2000年以降減少に転じている。
- ・ 団塊世代が多い人口構造で、今後高齢化が急速に進む。
- ・ 社会移動は職業上による20代の転出超過、結婚等による20代30代女性の転出超過が大きく、全体でも転出超過が続く。
- ・ 土岐市内に住む就業者は5年間で2000人以上減少。市内で働く就業者も2700人以上減少
- ・ 製造業の従業者が減少している。
- ・ 商業(卸売業)の商品販売額は減少傾向
- ・ 商業(小売業)の商品販売額は H19 は大きく増加
- ・ 市民調査意識(第五次土岐市総合計画)満足度が低い項目(道路関係)
 - JR 土岐市駅周辺の整備
 - 身近な生活道路の整備

○課題

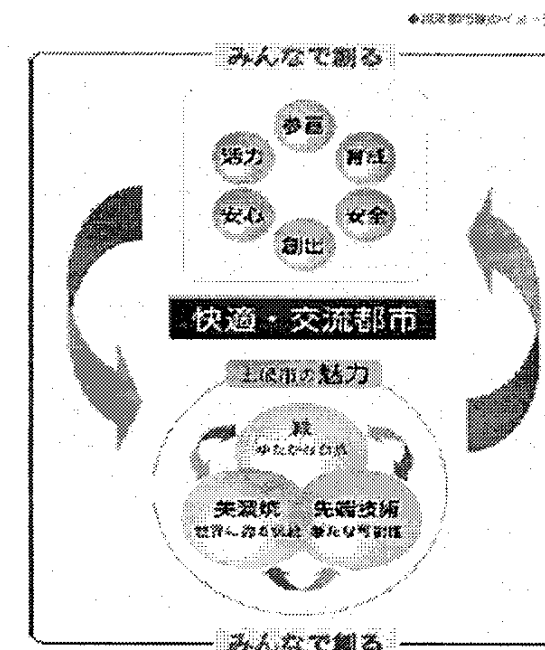
- ・ JR 土岐市駅周辺の活性化をはじめとした各地区の課題に応じた基盤整備(道路関係)
 - JR 土岐市駅周辺の整備
 - 幹線道路の整備
 - 身近な生活道路の整備
 - 交通安全対策
 - 街並み・景観の整備
 - 公園・緑地の整備
 - 地震・台風などの災害対策
- ・ 交流基盤がもたらす効果を“まち”にとりこむ
中央自動車道と並ぶ広域交通軸となる東海環状自動車道、先端技術の研究・開発機能や大規模商業施設を備えた土岐プラズマ・リサーチパークなどの新たな交流の舞台となる都市基盤は充実してきている。
今後は、こうした交流基盤がもたらす効果を全市に波及させ、中心市街地の活性化をはじめ定住人口や交流人口の拡大などが必要。
そのため、土岐アクアシルヴァ、土岐南テクノヒルズなどの工業団地の開発等により新たな雇用の場を広げ、若者が夢や希望をもって働き、生活できる産業基盤を充実させ、人口増等に資する企業の誘致を図っていく。

＜第五次土岐市総合計画＞

今後は、恵まれた自然を大切に守りながら、伝統と先端技術を両輪とした活力あるまちづくりを進め、子どもから高齢者まで土岐市に住む一人ひとりが、元気で、豊かさや潤い、安らかさやゆとりを実感できる快適なまちを、みんなで協力し、助けあって築き上げていくことを目指します。

(将来都市像)

"緑、美濃焼、先端技術"みんなで創る快適・交流都市



○拠点・ネットワーク形成の方針

1) 中心交流拠点(中心市街地)

JR土岐市駅周辺の中心市街地は、商業・業務・居住等の都市機能が充実した、魅力と活力があふれる本市の顔として再生を図ります。

2) 研究交流拠点(土岐プラズマ・リサーチパーク、コスモ・サイエンスパーク)

世界最先端の研究開発機関を誘致する土岐プラズマ・リサーチパーク等は、研究開発機能の充実とともに、周囲の自然環境と調和した緑地空間、市民や来訪者の多様なふれあいを生み出す交流空間等の整備を進め、市民に開かれた都市拠点の形成を図ります。

3) 自然・観光交流拠点(南部丘陵)

豊かな自然環境の保全を基調としつつ、自然公園やキャンプ場、温泉、農地等の地域資源を活かして、自然にふれあいながら、憩い、くつろぎ、余暇を楽しむことができるグリーンツーリズムを主体に、スローライフを求める時代に適合した観光交流拠点の形成を図ります。

4) 自然・複合交流拠点(北部丘陵)

北部丘陵においては、豊かな自然環境の保全を基調としつつ、現在、美濃焼卸商業団地や工場適地、道の駅志野・織部、美濃陶芸村、若人の丘等があり、今後も住商工・観光・スポーツ・レクリエーション等、バランスの取れた土地利用を図ります。

5) 交流ネットワーク

活力ある都市活動を支え、人・もの・情報の活発な交流を促す骨格として、名古屋や東京等の遠隔地と本市を結ぶ広域交流軸、隣接県や周辺都市と本市を東西・南北に結ぶ地域交流軸、日々の生活を支える生活交流軸といった、体系的な交流ネットワークの構築を図ります。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④ No.1

岐阜県土岐市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	・東海環状自動車道 ・(仮)五斗蒔 PA スマートIC化	平成17年3月の東回り開通以来、中部の「ものづくり」を支え、地域の活力の向上に寄与し、沿線の工業団地等に企業進出が進むなど、地域に絶大な効果をもたらしている。高速道路の恩恵をできる限り広い範囲に波及させるためには、それを生かすアクセスの整備は必要不可欠であり、さらなるアクセス道路の整備を要望する。 また、地域生活の充実、地域経済の活性化等を推進し、地域の住民及び企業等の高速道路利用における利便性を向上させ、工業団地等への企業誘致を促進するために、本市では五斗蒔PAスマートIC化を計画しており、早期実現に向けた支援をお願いしたい。 また、西回りルート of 早期事業展開による全線完成を図るなかで、中部圏内のネットワークの中核となる道路の完成が望まれる。 昨年12月に供用が開始された東海環状自動車道五斗蒔PA近くでは、現在民間の大規模工業団地の分譲が進んでおり、物流網強化による積極的な企業誘致の推進が可能になる。また周辺の観光地域の発展・活性化等広域的な効果が期待できるほか、将来予想される交通渋滞の緩和、交通安全や地域環境の保全といった観点から、市としても積極的に進める事業と位置付けており、早期実現に向けた支援をお願いしたい。	

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④ No.2

岐阜県土岐市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	・東濃西部都市間連絡道路 ・市道72340号線土岐パークウェイ道路新設事業 L=3,155m W=10.0m(歩道2.5m) ・緑ヶ丘日の出線道路新設事業 L=1,036m W=8.50m(歩道2.0m)	東濃地方を結ぶ都市間連絡道路は、東西交通の要である国道19号の慢性渋滞等を解消し補完する役割を担う重要な道路となる。中央自動車道や東海環状自動車道などの高速交通網、国道19号、21号などの広域幹線道路網との連携強化を図り、都市間の連結を高めるための道路と期待される。また、都市環状道路を活用しながら広域環状ネットワークの形成に努める道路を目指すものであり、真に必要な道路であることから事業化区間の早期完成とルート未決定区間のルート決定に向けた調査の推進と事業化を図り、全線の早期完成を要望する。 期待する効果： 各地域間のアクセス強化により、交通の利便を高めると共に地域間の連携を密なものにして、経済活動の活発化による地域活力の向上を図る。 評価： ・道路整備による経済活動の活性化 ・道路整備による地域連絡時間短縮	地方道路整備臨時交付金において、新設道路は採択されないため、財源の検討が必要。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④ No.3

岐阜県土岐市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
都市交通の快適性、利便性の向上 （中心市街地の整備改善）	・都市計画道路新土岐津線整備事業	土岐市駅を中心とする中心市街地は、市民生活の中心及び土岐をアピールする場として位置づけられているが、主要なアクセス道路が未整備であり、道路幅員が狭く歩道もないため安全性・利便性の上で問題となっている。新土岐津線整備事業は自動車の円滑化や歩行者の安全確保により市街地の安全性・利便性を高めるとともに、まちづくりのきっかけとなるものである。	
大規模な地震、火災に強い国土づくり等	・橋梁耐震補強・補修事業 市内全管理橋梁346橋のうち、幹線道路、重点施設・福祉施設を連絡する道路、有事の際に落橋による孤立集落の発生が予想される道路に架かる橋梁を重要橋梁として65橋選定し、重点的に耐震補強・補修を行っていく。	期待する効果： 平成19年度から始められている橋梁長寿命化修繕計画策定事業で橋梁の予防的修繕による経済的な延命を図るとともに、耐震補強を施すことにより有事の際の物資輸送経路の遮断を防止し、住民生活の安全性を高める。 評価： ・予防的修繕によるコスト縮減 ・計画的な管理による事業の平準化 ・地震時における孤立・混乱の防止	計画策定における点検費用は補助対象外。 道路局は橋梁の延命化を打ち出しているが、河川局は古い橋梁については、架替の方向。当市の全体計画を先に提出しなければ、個別橋梁の補修についての河川協議に応じてもらえない。（もう少し国交省内部で意思統一をして欲しい。）

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④ No.4

岐阜県土岐市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	・土岐可児線道路改良事業 ・交通安全施設等整備事業(通学路整備) 市内9小学校の通学路における歩道や歩車共存道路の実態を調査・把握するとともに、計画的な整備をする。	土岐市と可児市を結ぶこの道路は、中・東濃地方を結ぶ幹線道路として、極めて重要な役割を果たすものである。近年、沿線に工業団地が造成され、東海環状自動車道東回りルートの開通による利便性等により企業の進出意欲も高く、地域住民の生活の充実や地域経済の活性化を進めるためにも重要な道路である。 また、主要地方道土岐可児線は土岐市が計画する東海環状自動車道五斗蒔PAスマートIC化に伴うアクセス道路となることから、早期の改良整備を要望する。 さらに、東濃地方の道路整備率は県下でも低く、緊急かつ計画的に道路整備を進めるよう強く要望する。 期待する効果： 交通弱者である児童の通学時の安全を確保するとともに一般通行者の安全を図り、また通行ドライバーの交通安全に対する意識向上を図る。 評価： ・交通事故発生防止 ・ドライバーの交通安全意識の浸透	

橋梁長寿命化修繕計画取組事例（土岐市）

1. 長寿命化修繕計画に至る経緯

- ・平成 15 年度に橋梁維持管理計画の一環として、市単費で橋梁点検。
条件：橋長 15m 以上、施工年次の古いもの、1 級市道
対象橋梁 35 橋、点検費用≒ 4, 0 0 0 千円。
- ・平成 19 年度あたりから、維持管理計画立案をする予定
耐震補強・補修に関して、台帳整理等
- ・国からの長寿命化修繕計画
補修のみ、計画策定補助付、期限切れ後は補助対象外となる。
全橋梁を対象とするのは、緊急対策費用が莫大になると考えられるため不可能。
可能なことから施行するため、修繕においてレベルアップする橋を選択する。

2. 平成 19 年度計画内容

- ・重要な道路ネットワークの決定に伴う重要橋梁の選定
路線重要度・架橋対象・地形・緊急輸送道への連絡・路線別危険度等の条件。
有事の際に孤立するエリアを作らないようにする。
重要施設・指定避難場所・福祉施設を連絡する。
結果、重要橋梁 65 / 346 橋を決定、レベルアップを行う。
- ・個々の橋梁の修繕計画、修繕計画の効果
現在、作業中であるため、明確な報告は不可能。
個別橋梁のデータ分析、対象橋梁の健全度分類、修繕計画の立案。
コスト削減の効果、予防保全率・構造物保全率・状態指標の評価作成。
学識経験者等の参画。
修繕計画の公表（HP）。

3. 今後の懸案事項

- ・基礎データ収集費用
今後、5 年ごとにまとまった費用が必要となる。現在は補助対象外。
- ・緊急対策費用について
今まであまり手が入っていないため、大きな金額となる。
この後に初めて予防的修繕を行う橋となりうる。
- ・設計委託費のみの補助対象について
単年度で設計委託費のみは、現在補助になっていない。
設計と施工を同年度で行う場合、前年度において概算で交付申請を行うにすれば、
金額の誤差がかなり大きくなる。

平成19年度

橋梁維持管理計画

橋梁点検資料及び防災点検資料より、場当たりの橋梁補修でなく、経済的に投資効果をより高めるため、また防災上最低限の輸送ルートを確認するために、補修方法・耐震機能・耐用年数・地理的条件を検討して管理計画を立案し、それに基づき補修計画を立てる。

平成15年度橋梁点検より

- ・重要橋梁35橋のピックアップ
- ・重要橋梁の現況調査
- ・重要橋梁の耐震機能調査

平成9年度防災総点検より

- ・災害時の重要ルートの選定

緊急対策設計委託

橋梁維持管理計画によって立案された補修計画に基づき、対象橋梁の内緊急性の高いものについて、現況補修・耐震補強設計をする。

管理台帳整備委託

管理計画立案後、補修計画・補強計画・耐用年数などの台帳整備をする。

平成20年度

緊急対策設計委託

橋梁維持管理計画によって立案された補修計画に基づき、対象橋梁の内平成19年度設計以外について現況補修・耐震補強設計をする。

橋梁耐震補強・補修工事

平成19年度設計分

平成21年度

橋梁耐震補強・補修工事

平成19, 20年度設計分

土岐市内路線別架橋対象別橋梁数

全橋梁数	346
------	-----

架橋対象	1級市道		2級・その他	
	L<15m	15m≤L	L<15m	15m≤L
土岐川	0	2	0	2
妻木川	0	3	7	11
肥田川	0	4	6	13
伊野川	0	0	18	1
下石川	1	0	1	9
久尻川	1	0	2	0
不動川	0	0	9	0
中央道	0	0	0	3
東環道	0	0	0	3
小計	2	9	43	42
その他	6	0	237	7
合計	8	9	280	49
	1級市道計		17	1級以外市道計
合計				329
				346

「計画策定マニュアル(案)」の長寿命化修繕計画策定の作業の流れ

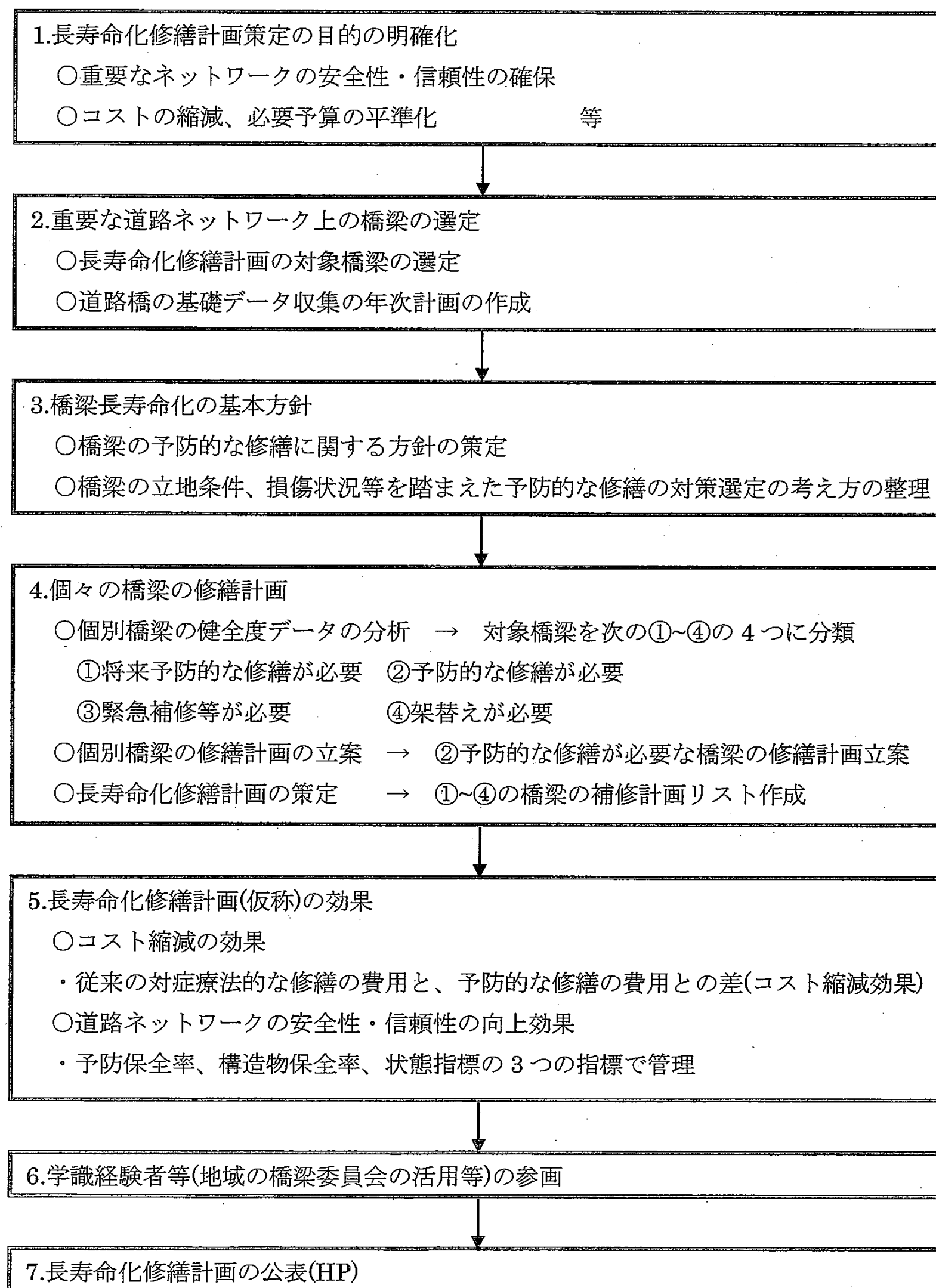
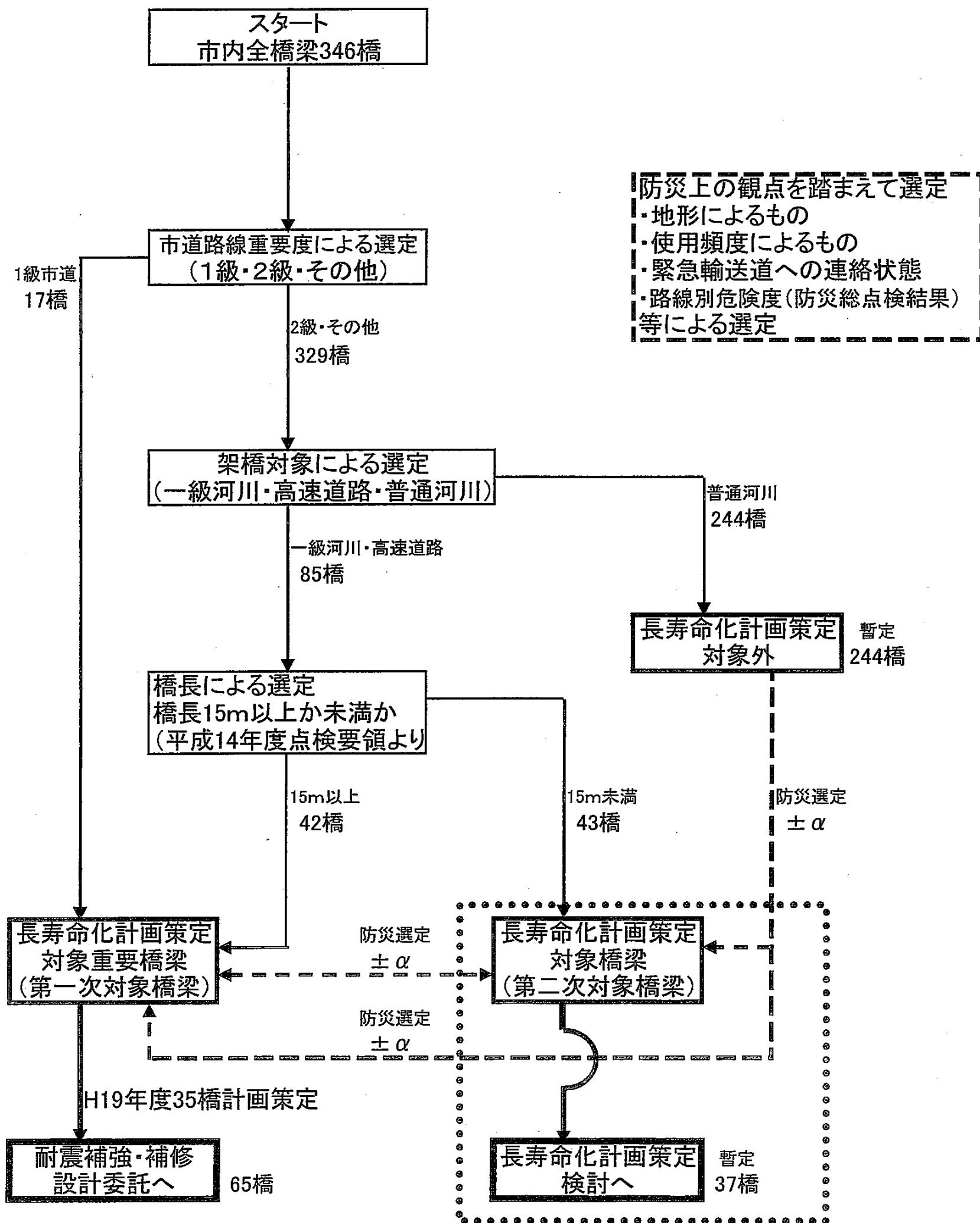


図 長寿命化修繕計画策定の作業の流れ

橋梁長寿命化計画策定対象選定フロー

- ・路線、対象物、による選定と、地形・使用頻度・連絡・危険度による選定とをすり合わせて、対象橋梁を決定する。



- ・平成25年度までに計画策定を行った橋梁は、それ以降の事業も国庫補助対象となる。
- ・日常の職員による点検業務でどこまで対応可能か検討が必要

重要道路ネットワーク構成

対象橋梁を選定するための土岐市内重要道路ネットワーク構成を行う。ここでいう重要道路ネットワークとは、災害による緊急時に重要施設、指定避難場所、福祉施設、緊急輸送道路への連絡(往来)が地域間で可能なように計画した道路ネットワークである。以下にネットワーク構成の方針を示す。

■構成方針

ネットワークの構成は、土岐市内を 8 地域に区分し、重要施設、指定避難場所、福祉施設、緊急輸送道路への連絡が地域間で確実に可能となる計画とする。以下に、ネットワークの構成方針を示す。

【ネットワークの構成方針】

- ・ 1 級市道はすべて含める
- ・ 国道および県道はすべて含める
- ・ 重要施設、指定避難場所、福祉施設、緊急輸送道路への連絡(往来)が確実に可能な計画とする。
- ・ 2 級、3 級市道は、ネットワークをつなげるたおよび各種施設まで到達するために必要な場合等において含める
- ・ 孤立する可能性ある集落を極力なくす

また、区分した地域、重要施設、指定避難場所、福祉施設は以下に示すとおりである。

【地域】

- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| ・ 土岐津地区 | ・ 下石地区 | ・ 妻木地区 | ・ 鶴里地区 |
| ・ 曾木地区 | ・ 駄知地区 | ・ 肥田地区 | ・ 泉地区 |

【重要施設】

- | | | | |
|-----------|-----------|----------------------------------|------------|
| ・ 土岐市役所 | ・ 土岐市北消防署 | ・ 土岐市南消防署 | ・ 土岐市立総合病院 |
| ・ 市役所駄知支所 | ・ 市役所西支所 | ・ ヘリポート(浅野緑地内および岐阜県青少年総合活動センター内) | |

【指定避難場所】（土岐市 HP より）

町名	施設名	町名	施設名
土岐津町	土岐津小学校	駄知町	駄知小学校
	土岐津中学校		駄知中学校
下石町	下石小学校		駄知公園
	南防災センター		セラテクノ土岐
妻木町	妻木小学校	肥田町	肥田小学校
	西陵中学校		肥田中学校
	妻木児童館		肥田地域センター
鶴里町	鶴里小学校		北防災センター
	濃南中学校	泉町	泉小学校
	鶴里公民館		泉中学校
曾木町	曾木小学校		泉西小学校
	曾木公民館		セラトピア土岐

【福祉施設】（土岐市 HP より）

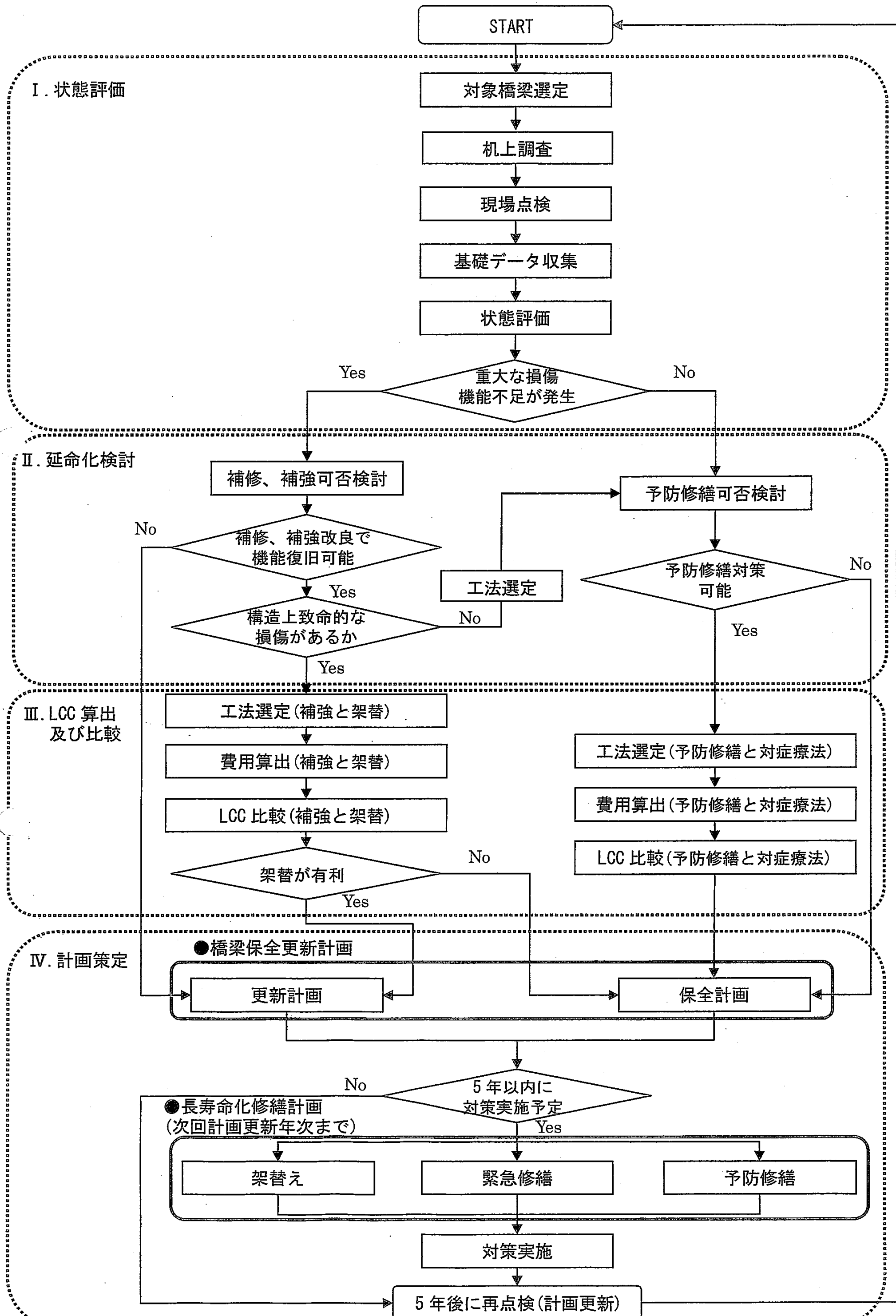
- ・土岐市総合福祉センター・ウエルフェア土岐
- ・土岐市恵風荘
- ・土岐市老人福祉センター白寿苑
- ・土岐市妻木憩の家
- ・土岐市泉憩の家
- ・土岐市河合憩の家
- ・岐阜県立はなの木苑
- ・特別養護老人ホームとき陶生苑
- ・土岐市老人保健施設やすらぎ
- ・土岐市保健福祉センター・すこやか館
- ・土岐市福祉施設ひだまり

次頁に，上記の方針で定めた，土岐市重要道路ネットワーク図を示す．

長寿命化修繕計画対象橋梁(65橋)

No.	橋梁名	交差物件	建設年次	延長(m)	市道名		地区名	橋種	橋梁点検	策定年度
1	陶栄橋	妻木川	1937 1978.3	42.0	1級	10004号線	土岐津地区	鋼桁橋 PC床版橋	○	H19実施
2	追沢橋	その他河川	1974	7.0	1級	10005号線	土岐津地区	RC床版橋	△	H19実施
3	無名橋 10005-1号線	その他河川	1950	5.6	1級	10005号線	土岐津地区	RC床版橋	○	H19実施
4	無名橋 20006-1号線	下石川	1978	10.0	1級	20006号線	下石地区	RC床版橋	○	H19実施
5	中切橋	肥田川	1972	19.3	1級	20006号線	曾木地区	鋼桁橋	○	H19実施
6	若宮橋	妻木川	1985.1	31.4	1級	30007号線	妻木地区	RC床版橋	○	H19実施
7	井ノ洞橋	八百田川	1992.3	12.7	1級	50008号線	曾木地区	RC床版橋	△	H19実施
8	西山橋	日帰川	1951	4.5	1級	60011号線	駄知地区	RC床版橋	○	H19実施
9	千歳橋	肥田川	1931	23.1	1級	60012号線	駄知地区	PC床版橋	○	H19実施
10	無名橋 (60013-1号線)	宮川	不明	3.8	1級	60013号線	駄知地区	RC床版橋	○	H19実施
11	新雲五橋	雲五川	1983.3	10.2	1級	70014号線	肥田地区	RC床版橋	○	H19実施
	桑原橋	肥田川	1976	40.8	1級	70015号線	肥田地区	鋼桁橋	○	H19実施
13	弓取橋	肥田川	1965	36.0	1級	70016号線	肥田地区	RC床版橋	○	H19実施
14	三共橋	土岐川	1969.6	109.6	1級	80018号線	肥田地区	PC床版橋	○	H19実施
15	土岐津橋	土岐川	1931	103.8	1級	80020号線	土岐津地区	PC床版橋	○	H19実施
16	無名橋 (80022-1号線)	久尻川	1965	4.0	1級	80022号線	泉地区	RC床版橋	○	H19実施
17	栄楽橋	妻木川	1958	27.0	2級	10102号線	土岐津地区	鋼鈑桁橋	○	H19実施
18	古井橋	妻木川	1937	40.7	2級	10102号線	土岐津地区	PC床版橋	○	H19実施
19	川尻橋	妻木川	1963.1	17.5	2級	20103号線	下石地区	PC床版橋	○	H19実施
20	白沢橋	窯洞川	1970	14.6	2級	20103号線	下石地区	RC床版橋		H20予定
21	無名橋 (20107-1号線)	荒神洞川	不明	3.40	2級	20107号線	下石地区	RC床版橋		H20予定
22	栄橋	妻木川	1929.9	37.9	2級	20109号線	下石地区	PC床版橋	○	H19実施
23	井乃口橋	妻木川	1935 1984.3 (歩道橋)	39.5 40.2 (歩道橋)	2級	30112号線	妻木地区	PC床版橋		H20予定
	小原橋	西山谷川	1977.12	11.4	2級	30116号線	妻木地区	RC床版橋		H20予定
25	ねずの木橋	今市場谷川	1932	4.1	2級	30116号線	妻木地区	RC床版橋		H20予定
26	山寺橋	須後川	1936	9.3	2級	30120号線	妻木地区	RC床版橋		H20予定
27	郷之橋	下川?	1930	5.4	2級	50133号線	曾木地区	RC床版橋		H20予定
28	西窯橋	不動川	1933.1	8.8	2級	60136号線	駄知地区	RC床版橋	△	H19実施
29	東竈橋	肥田川	1935.1	17.0	2級	60137号線	駄知地区	RC床版橋	○	H19実施
30	無名橋 (80146-4号橋)	賤洞川	1935	2.9	2級	80146号線	泉地区	RC床版橋		H20予定
31	無名橋 (80147-1号橋)	大洞川	1978	6.2	2級	80147号線	泉地区	RC床版橋		H20予定
32	無名橋 (80147-2号橋)	大洞川	1978	6.5	2級	80147号線	泉地区	RC床版橋		H20予定
33	大徳小橋	お林川	1973	3.4	2級	80150号線	泉地区	RC床版橋		H20予定
34	山の田橋	伊野川	1996.3	10.0	2級	80150号線	泉地区	RC床版橋		H20予定
35	伊野川橋	伊野川	1968.3	20.6	2級	80157号線	泉地区	PC床版橋	○	H19実施
36	永久橋	土岐川	2004.7	130.2	3級	11030号線	土岐津	3径間連続 プレキャスト橋	△	H19実施
37	新都市橋	妻木川	2004.8	61.2	3級	12467号線	土岐津地区	2径間連続 鋼鈑桁橋	△	H19実施
38	稻荷橋	洞田川	1933.1	5.4	3級	21216号線	下石地区	RC床版橋		H20予定
39	日帰橋	日帰川	1965	9.50	3級	21282号線	下石地区	PC床版橋		H20予定

No.	橋梁名	交差物件	建設年次	延長(m)	市道名		地区名	橋種	橋梁点検	策定年度
40	岩ヶ洞橋	岩ヶ洞川	1955	2.80	3級	21282号線	下石地区	RC床版橋		H20予定
41	無名橋 (22366-1号線)	溝洞谷川	不明	3.8	3級	22366号線	下石地区	RC床版橋		H20予定
42	裏山橋	裏山川	1960	7.7	3級	22366号線	下石地区	PC床版橋		H20予定
43	中央橋	下石川	1934	15.2	3級	22366号線	下石地区	PC床版橋		H20予定
44	下石橋	妻木川	1929	46.0	3級	22379号線	下石地区	RCT桁橋		H20予定
45	三之堰橋	妻木川	1969.6	34.0	3級	31331号線	妻木地区	RC床版橋	○	H19実施
46	妻木橋	妻木川	1953.3	20.2	3級	31347号線	妻木地区	PC床版橋	○	H19実施
47	西ヶ沢橋	西山谷川	1965	4.3	3級	31348号線	妻木地区	RC床版橋		H20予定
48	日向橋	肥田川	1989	14.0	3級	41424号線	鶴里地区	PC床版橋		H20予定
49	若宮橋	妻木川	1972	5.6	3級	41464号線	鶴里地区	RC床版橋		H20予定
50	無名橋 (41491-1号線)	洞山川	1982	5.0	3級	41491号線	鶴里地区	鋼桁橋		H20予定
51	中島橋	肥田川	1972	17.8	3級	51511号線	曾木地区	鋼桁橋	○	H19実施
52	無名橋 (51528-1号線)	百々川	1971	5.0	3級	51528号線	曾木地区	RC床版橋		H20予定
53	中肥田橋	朴ノ木川	1951	7.8	3級	71785号線	肥田地区	RC床版橋	△	H19実施
54	森前橋	肥田川	1933	29.0	3級	71785号線	肥田地区	PC床版橋	○	H19実施
55	釜池橋	肥田川	1972	23.4	3級	71850号線	肥田地区	鋼桁橋	○	H19実施
56	上肥田橋	肥田川	1986	37.6	3級	71853号線	肥田地区	PC床版橋	○	H19実施
57	無名橋 (82390-1号線)	深沢川	1992	10.5	3級	82390号線	泉地区	PC床版橋		H20予定
58	新土岐川橋	土岐川	1989.3	159.5	3級	82395号線	泉地区	PC床版橋	△	H19実施
59	田の洞橋	田の洞川	2002.3	10.5	3級	82466号線	泉地区	PC床版橋		H20予定
60	井ノ洞橋	中央道	1973.4	34.8	2級	80146号線	泉地区	PC床版橋	○	H19実施
61	丸石橋	中央道	2004.3	47.8	3級	81992号線	泉地区	PC箱桁橋		H20予定
62	西洞橋	中央道	1973.5	52.0	3級	82315号線	泉地区	PC床版橋	○	H19実施
63	四谷跨道橋	東海環状	2001.9	33.5	3級	11008号線	土岐津地区	単純ポストテンションT桁橋		H20予定
64	順礼洞橋	東海環状	2003.3	36.0	3級	12491号線	土岐津地区	PC床版橋		H20予定
65	古井跨道橋	東海環状	2001.11	45.4	3級	?2049号線	?	PC床版橋		H20予定



「橋梁定期点検要領(案)」と一部項目を追加した「基礎データ収集要領(案)」との評価要領の対比

下記に、一部項目を追加した「基礎データ収集要領(案)」と「H16 直轄要領」との対比表を示す。

橋 梁 定 期 点 検 要 領 (案)				基 礎 デ ー タ 収 集 要 領 (案)			
鋼 部 材 の 損 傷	腐食	桁端部	a～e	鋼 部 材 の 損 傷	腐食	桁端部	a～e
		中間部	a～e				
	亀裂	桁端部	a～e		亀裂	桁端部	有無
		中間部	a～e				
	ゆるみ・脱落		a～e		ボルトの脱落		有無
	破断	桁端部	a～e		破断		有無
		中間部	a～e				
	防食機能の劣化		a～e				
コ ン ク リ ー ト 部 材 の 損 傷	ひびわれ		a～e	コ ン ク リ ー ト 部 材 の 損 傷	ひびわれ・漏水・遊離石灰		a～e
	漏水・遊離石灰		a～e				
	剥離・鉄筋露出		a～e		鉄筋露出		有無
	抜け落ち		a～e		抜け落ち		有無
	コンクリート補強材の損傷		a～e		コンクリート補強材の損傷		a～e
	床版ひびわれ	端部 2 パネル	a～e		床版ひびわれ(・漏水・遊離石灰)	端部 2 パネル	a～e
		中間部	a～e				
	うき		a～e		PC 定着部の異常		有無
そ の 他 の 損 傷	遊間の異常		a～e	そ の 他 の 損 傷			
	路面の凹凸	伸縮継手部	a～e		路面の凹凸		有無
		その他	a～e		舗装の異常		a～e
	舗装の異常		a～e		支承の機能障害		有無
	支承の機能障害		a～e		伸縮装置の機能障害		有無
	その他		a～e		高欄・地覆の損傷		有無
共 通 の 損 傷	定着部の異常		a～e	共 通 の 損 傷	排水施設の機能障害		有無
	漏水・滞水		a～e				
	異常な音・振動		a～e				
	異常なたわみ		a～e				
	変形・欠損		a～e				
	土砂詰り		a～e				
	沈下・移動・傾斜	下部工	a～e		下部工の変状(沈下・移動・傾斜・洗掘)	下部工	有無
		支点	a～e				
	洗掘		a～e				

：「基礎データ要領」に追加した項目

※その他：備考欄に落橋防止システムの設置状況について、記述する。

要求性能の整理

橋梁維持管理計画の策定にあたり，各対象橋梁において要求性能を設定する必要がある。

要求性能としては，耐荷性，耐震性，走行安全性，第三者被害対策の４項目に対して土岐市の現状を踏まえて設定した。以下に各項目における要求性能とその評価方法について示す。

表 要求性能の整理

項目	要求性能	評価方法
耐荷性	TL-20に対して安全性を確保する。	・既設橋梁の耐荷力照査実施要領(案) ・橋梁点検結果
耐震性	橋脚耐震補強および落橋防止システムについて，Level2地震動に対して現行規準を満足する安全性を確保する。	・竣工年に伴う設計基準年度 ・橋梁点検結果
走行安全性	舗装，伸縮装置，高欄，地覆，排水施設に対して，供用開始時に期待されている安全性を確保する。	・橋梁点検結果
第三者被害対策	上部工下面(床版下面や桁)からの鋼部材およびコンクリート部材の剥落，脱落，抜け落ち等に関して安全性を確保する。(特に跨道橋における交差道路に対する安全性の確保)	・橋梁点検結果

緊急修繕が必要な橋梁の抽出

緊急修繕が必要な橋梁としては，上記に示した要求性能が満足していない橋梁および橋梁点検結果から判断して著しい損傷を有する橋梁を抽出した。次頁に本年度対象橋梁の抽出結果を示す。

土岐市橋梁補修・補強対策一覧表

No	市道区分	橋梁名	交差物件	橋長	上部工形式	下部工形式		斜角	建設年次	設計荷重	上部工耐荷力照査1.1'結果	落橋防止対策状況	橋脚耐震補強対策状況	劣化、損傷状況	落橋防止対策の要否と内容		橋脚耐震補強対策の要否と内容		補修対策の要否と内容		上部工耐荷力向上対策の要否と内容		荷重制限の有無
						橋台	橋脚								要否	内容	要否	内容	要否	内容	要否	内容	
22	"	栄橋	妻木川	38.0	4径間単純RCT桁	不明	ラーメン式	直橋	S4.9	(10t)	NG		未施工	・主桁鉄筋露出 ・舗装ひびわれ、高欄、伸縮欠損	要	・落橋防止構造(1.5SE) ・変位制限構造(横桁+アンカーボルト)	要	・巻立て補強(RC)	要	・主桁断面補修 ・伸縮取替え	要	・架替え要否検討	有
17	二級	栄栄橋	妻木川	27.0	2径間単純H型鋼橋	不明	ラーメン式	直橋	S33	TL-14	OK		未施工	・Co舗装ひびわれ	要	・落橋防止構造(緩衝チェーン、PCケーブル)	要	・巻立て補強(RC)	否	—			
15	"	土岐津橋	土岐川	103.8	9径間単純RCT桁	不明	ラーメン式	直橋	S6	(5t)	OK	・沓座拡張(SE確保) ・落橋防止装置(旧規格:H2道示)	未施工	・ASR(P1~P4) ・伸縮装置脱落、欠損	要	・落橋防止構造(1.5SE、PCケーブル取替)	要	・巻立て補強(RC)	要	・ASR対策(ひびわれ注入、防水塗装他)	要	・架替え要否検討	有
13	"	弓取橋	肥田川	36.0	3径間単純RCT桁 +3径間単純プレテン床版	不明	ラーメン式 壁式	直橋	S40	TL-20	OK		未施工	・主桁鉄筋露出 ・高欄断面欠損	要	・落橋防止構造(1.5SE、PCケーブル)	要	・巻立て補強(RC)	要	・主桁断面補修 ・高欄断面補修			
6	"	若宮橋	妻木川	31.5	2径間単純プレテン床版	不明	張出式	右53°	S60.10	TL-20	OK		未施工		要	・落橋防止設置(1.5SE、鋼製拡張)	要	・巻立て補強(RC)	否	—			
12	"	桑原橋	肥田川	41.0	2径間単純H型鋼橋	不明	壁式	左73°	S51	TL-20	OK		未施工	・ASR(P1) ・伸縮	要	・落橋防止構造(緩衝チェーン、PCケーブル)	要	・巻立て補強(RC)	否	—			
9	"	千歳橋	肥田川	23.1	2径間連続RCT桁ラーメン	不明	ラーメン式	直橋	S6	(8t)	OK	・沓座拡張(SE確保)	未施工		要	・落橋防止構造(1.5SE、RC拡張) ・変位制限構造(RC突起)	要	・巻立て補強(RC)	要	・橋台断面補修	要	・架替え要否検討	有
1	"	陶栄橋②	妻木川	42.0	2径間単純H型鋼橋	不明	壁式	直橋	S53.3	TL-14	OK	・沓座拡張(SE確保)	未施工	・舗装ひびわれ(P1上)	要	・落橋防止構造(緩衝チェーン、PCケーブル)	要	・巻立て補強(RC)	否	—			
1	"	陶栄橋①	妻木川	42.0	4径間単純RCT桁	不明	ラーメン式	直橋	S12	(10t)	OK	・沓座拡張(SE確保) ・落橋防止装置(旧規格:H2道示)	未施工	・高欄断面欠損、鉄筋腐食	要	・落橋防止構造(1.5SE、RC拡張)	要	・巻立て補強(RC)	要	・高欄断面補修	要	・架替え要否検討	有
11	"	新五五橋	五五川	10.2	単純プレテン床版	不明	なし	右43°	S58.3	TL-20	OK		不要		要	・沓座拡張(鋼製ブラケット)	否	—	否	—			
56	"	上肥田橋	肥田川	37.6	2径間単純プレテン桁	不明	壁式	左79°	S61	TL-14	OK		未施工	・排水詰り	要	・落橋防止構造(1.5SE、PCケーブル) ・変位制限構造(RC突起)	要	・巻立て補強(RC)	否	—			
18	"	古井橋	妻木川	40.7	3径間ケルバー式RCT桁	不明	壁式	直橋	S12	(10t)	NG	・沓座拡張(SE確保) ・落橋防止装置(旧規格:H2道示)	未施工	・主桁鉄筋露出 ・舗装ひびわれ	要	・落橋防止構造(1.5SE、PCケーブル) ・変位制限構造(RC突起)	要	・巻立て補強(RC)	要	・主桁断面補修	要	・架替え要否検討	有
45	普通	三之堰橋	妻木川	34.0	2径間単純プレテン床版	不明	ハイバント橋脚	直橋	S44.6	TL-14	OK	・沓座拡張(SE確保) ・落橋防止構造(1.5SE確保、H9)	未施工	・床版漏水	否	—	要	・巻立て補強(鋼板圧入)	要	・床版ひびわれ補修、 橋面防水工			
46	"	菱木橋	妻木川	20.2	2径間単純RCT桁	不明	壁式	直橋	S28.3	不明	NG	・沓座拡張(SE確保) ・変位制限構造(H7対策済)	未施工	・床版遊離石灰 ・舗装ひびわれ	要	・RC沓座拡張	要	・巻立て補強(RC)	要	・横桁断面補修 ・橋面防水工	要	・補強要否検討	
62	普通	西洞橋	中央自動車道	52.0	3径間連続斜材付元ラーメン	不明	壁式	直橋	S48.5	TL-14	OK	不要	未施工	・伸縮脱落	否	—	不明	・動的解析による耐震性の検証が必要	要	・伸縮取替え			
29	"	東留橋	肥田川	17.0	2径間単純RCT桁	不明	ラーメン式	直橋	S10.1	(8t)	NG	・沓座拡張(SE確保)、落橋防止装置、 変位制限構造(H10対策済)	未施工	・床版鉄筋露出・漏水 ・舗装ひびわれ	否	—	要	・巻立て補強(RC)	要	・舗装ひびわれ補修、 橋面防水工	要	・架替え要否検討	有
14	一級	三共橋	土岐川	109.6	5径間単純プレテン桁	重力式	張出式	直橋	S44.6	TL-20	OK	・沓座拡張(SE確保)、落橋防止装置、 変位制限構造(H10対策済)	未施工	・ASR(A2)	否	—	要	・巻立て補強(RC)	要	・ASR対策(ひびわれ注入、 防水塗装他)			
8	"	西山橋	日綿川	4.5	単純RC床版	不明	なし	右61°	S26	不明	NG		不要	・高欄断面欠損、鉄筋腐食	要	・沓座拡張(鋼製ブラケット)	否	—	要	・高欄断面補修	要	・補強要否検討	
55	"	釜池橋	肥田川	23.4	単純H型鋼橋	不明	なし	直橋	S47	TL-14	NG		不要	・モルタル破損	要	・沓座拡張(A1、RC拡張) ・変位制限構造(鋼製突起)	否	—	要	・支承モルタル補修	要	・補強要否検討	
16	"	無名橋	久尻川	4.0	単純RC床版	不明	なし	直橋	S40	不明	OK		不要	・床版遊離石灰	要	・沓座拡張(鋼製ブラケット)	否	—	要	・床版ひびわれ補修、 橋面防水工			
10	"	無名橋	宮川	3.8	単純RC床版	不明	なし	左78°	不明	不明	OK		不要		要	・沓座拡張(鋼製ブラケット)	否	—	否	—			
51	普通	中島橋	肥田川	17.8	単純H型鋼橋	不明	なし	直橋	S47	TL-14	OK		不要	・舗装ひびわれ	要	・沓座拡張(RC拡張) ・変位制限構造(鋼製突起)	否	—	否	—			
3	"	無名橋	追沢川	5.6	単純RCT桁	不明	なし	左67°	S25	不明	OK		不要		要	・沓座拡張(RC拡張) ・変位制限構造(アンカー増設+横桁設)	否	—	否	—			
4	"	無名橋	下石川	10.0	単純RC床版	不明	なし	左49°	S53	不明	OK		不要		要	・沓座拡張(鋼製拡張)	否	—	否	—			
54	"	森前橋	肥田川	29.0	3径間単純RCT桁	不明	ラーメン式	右52.5°	S8	(10t)	NG	・沓座拡張(SE確保) ・落橋防止装置(H7旧旧仕様)	対策済	・主桁剥離、鉄筋露出	要	・落橋防止構造(PCケーブル) ・変位制限構造(鋼製突起改造)	否	—	要	・主桁断面補修 ・地盤設置	要	・架替え要否検討	有
60	二級	井之洞橋	中央自動車道	34.8	3径間連続斜材付元ラーメン	不明	壁式	直橋	H4.3	TL-14	OK	不要	未施工	・床版遊離石灰	否	—	不明	・動的解析による耐震性の検証が必要	要	・橋面防水工			
35	二級	伊野川橋	伊野川	20.7	単純ポストンT桁	不明	なし	左62°	S43.3	TL-14	OK	・沓座拡張(SE確保)	不要		要	・変位制限構造(RC突起)	否	—	否	—			
19	"	川尻橋	妻木川	17.5	単純プレテンT桁	不明	なし	直橋	S38.1	TL-14	OK		不要		要	・変位制限構造(RC突起)	否	—	否	—			
5	"	中切橋	肥田川	19.3	単純H型鋼橋	不明	なし	左69°	S47	不明	OK		不要		要	・沓座拡張(RC拡張) ・変位制限構造(鋼製突起)	否	—	否	—			

橋梁長寿命化修繕計画策定における懸案事項

1.基礎データ収集費用について

基礎データ収集に関しては、今後5年ごとに収集をしていく予定であるが、その費用については下記の概算費用が必要となる。

概算費用（基礎データ収集要領によった場合）

現在の計画策定対象橋梁 65 橋 （あくまでも参考）

50m以上	6	×	120,000	=	720,000
50m以下	59	×	60,000	=	3,540,000
	65 橋				4,260,000 円

管理全橋梁 346 橋

50m以上	6	×	120,000	=	720,000
50m以下	340	×	60,000	=	20,400,000
	346 橋				21,120,000 円

橋梁定期点検要領(直轄)概算 65 橋

65	×	380,000	=	24,700,000 円
----	---	---------	---	--------------

2.緊急対策費用について

橋梁の計画策定後に緊急に必要な費用

現在の計画策定対象橋梁 65 橋

このうち、平成19年度計画策定35橋のうち、29橋が対象となる。

概算費用（8月TV用）

（あくまでも目安）

緊急対策設計費

経費込

	数量	単価(千円)		費用(千円)
落橋防止	27 箇所	210	=	5,670
橋脚補強	34 基	400	=	13,600
ハイルベント	1 基	700	=	700
上部工補強	7 橋	480	=	3,360
補修設計	15 橋	170	=	2,550
計				25,880

緊急対策施工費

経費込

	数量	単価(千円)		費用(千円)
落橋防止	27 箇所	1,800	=	48,600
橋脚補強	34 基	8,300	=	282,200
ハイルベント	1 基	36,000	=	36,000
上部工補強	1650 m ²	160	=	264,000
補修設計	15 橋	8,000	=	120,000
計				750,800

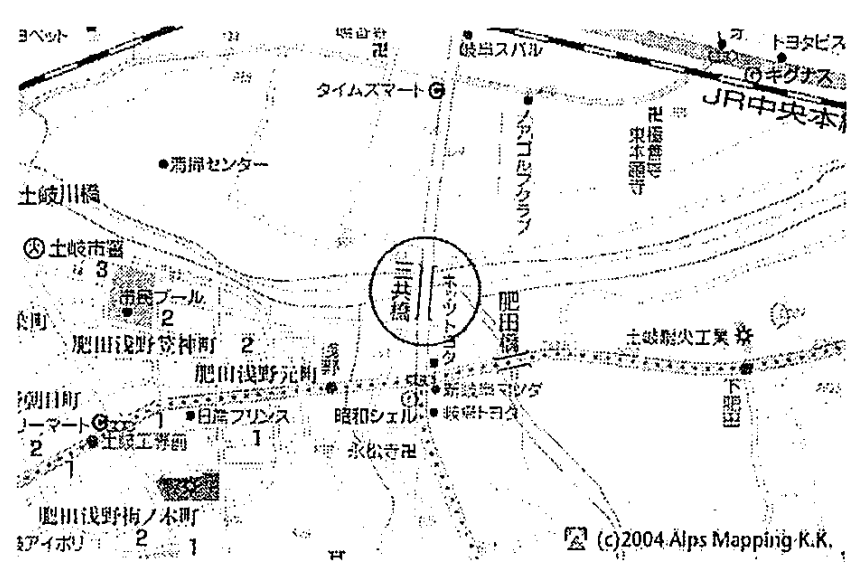
事業費として、確認分の概算費用 776,680 千円

※実際に図面が無いものに関しては、別途調査が必要

※実際に図面が無いもののがかなりあった。

橋 梁 台 帳

更新年月 平成19年12月

【一般事項】						【交差物件】				【高欄・防護柵】															
管理No.		橋 長		109.6 m		名称		土岐川		設置場所		種別	形式	材料	高さ (m)	備考									
(フリガナ)		サンキョウバシ		最大支間長		21.2 m		種別(管理者)		河川(国交省)		歩道端		車道用	防護柵	コンクリート	0.9								
橋 梁 名		三共橋		径 間 数		5		交 差 角				車道端		—	マウント	—	—								
所 在 地		泉町河合字中屋敷		有効橋面積		822.0 m ²		計画幅		m															
道路種別		1級市道		斜 角		90°		計画流量		m ³ /s															
路線番号		80018号						高水位		TP		m		【主桁】		【舗装】									
架設年次		1969.6 (S44.6)						桁下空間高		m				材 料		コンクリート		種 別	アスファルト						
適用示方書		S39道示						【交通量】				高 さ(mm)		1200		厚 さ(mm)		120							
設計活荷重		当初	TL-20		設計会社				調査年度				【伸縮装置】		【支承】										
変更		—			施工		上部工			交通量		(昼間12時間)		使用箇所		種類	遊間(mm)	使用箇所	タイプ	種類					
通行制限		—			会社		下部工			大型車混入率				A1~A2		荷重支持型	50	A1~A2	タイプA	ゴム支承					
【幅員 (m)】										【添架物】															
全幅員		有効幅員		歩道	路肩	車道	中央帯	車道	路肩	歩道	種 別		寸法	本数	重量 (kg/m)	管 理 者									
8.2		7.5		0.75	0.25	2.75	0.00	2.75	0.25	0.75															
【上部工】										【下部工】										【落橋防止】					
区 間		構造形式		最大支間長 (m)		名称		構造形式		基礎形式		桁かかり長 (cm)		落橋防止構造		変位制限構造		備考(適用基準等)							
A1~A2		5径間単純PCプレテンT桁		21.16		A1		逆T式橋台		直接基礎		起点側		終点側	PCケーブル		RC突起		H7復旧仕様						
						P1		張出し式橋脚		直接基礎		—		99 (OK)	PCケーブル		RC突起		H7復旧仕様						
						P2		張出し式橋脚		直接基礎					PCケーブル		RC突起		H7復旧仕様						
						P3		張出し式橋脚		直接基礎		111 (OK)		111 (OK)	PCケーブル		RC突起		H7復旧仕様						
						P4		張出し式橋脚		直接基礎		105 (OK)		105 (OK)	PCケーブル		RC突起		H7復旧仕様						
						A2		逆T式橋台		直接基礎		98 (OK)		—	PCケーブル		RC突起		H7復旧仕様						
【位置図】										【施設写真】															
										《橋 面》										《側 面》					
																									

【橋梁点検履歴】				
点検種別	点検年月日	工費	主な点検結果	業務名・調査会社
定期点検	平成15年		A2橋台の縦壁前面や側面に錆汁を伴うひびわれが発生している。	大同コンサルタンツ(株)

【補修・補強履歴】						
整理番号	上・下部工 区分	径間又は 躯体名称	補修 年月日	工費	主な補修・改良内容	工事名・施工会社
	下部工	A1～A2	平成7年		落橋防止壁(RC突起)およびPC鋼棒連結設置	(設計会社：大日コンサルタント(株))

3枚目に橋梁一般図を添付

土岐市道路網図 (重要道路ネットワーク 第一次対象橋梁)

ネットワークの構成方針

- ・1級市道はすべて含める
- ・国道および県道はすべて含める
- ・重要施設、指定避難場所、福祉施設、緊急輸送道路への連絡(往来)が確実に可能な計画とする
- ・2級、3級市道は、ネットワークをつなげるため及び各種施設まで到達するために必要な場合等において含める
- ・孤立する可能性のある集落を極力なくす

凡 例

- 1級市道
- 2級市道
- 3級市道
- 国道・県道(緊急輸送道路)
- 県 道
- 高速道路
- 鉄 道
- 重要施設
- 指定避難場所
- 福祉施設

